

【第11回】講義概要紹介 12月24日(火)

■ 講師

高嶋 浩司 (たかしま ひろし)

有限会社高島産業 代表取締役社長

【略歴】

昭和36年	高松市出身
昭和59年	成蹊大学経済学部卒業
昭和61年	(有)高島産業入社
平成10年	(有)高島産業 代表取締役社長に就任



【講師紹介】

大学卒業後、商社に入社。当時、バブル景気に向かっており商社も絶好調。その中、商社を退職し、東京から香川の実家養鶏場に戻る。世の中がバブル景気で浮かれている中、毎日、農場にこもり鶏と向き合う生活をする。平成10年、養鶏場4代目(会社設立2代目)として後継する。会社創業理念の「会社の発展と社員の幸せの実現」に向け、先代の意志を受け継ぎながら、新しいミッション『あらん』で目の健康に貢献を目指していく。

【有限会社高島産業について】

大正11年(1922年)雛と鶏卵販売の養鶏場として創業。

昭和43年(1968年)会社設立。創業理念は「会社の発展と社員の幸せの実現」。

令和4年(2022年)創業100周年。ルテインが豊富な機能性たまご『あらん』の開発に成功し販売開始。『ルテイン含有卵を開発！機能性表示食品で日本初(2022/10/15 四国新聞)』

令和5年(2023年)日本初の鶏卵ドバイ輸出に成功。『香川の「目にいい」卵はドバイへ！(2023/12/26 日本経済新聞)』

今後、可能性にチャレンジしていく。

■ 講義概要

ドバイへGO!

講義内容は以下のとおりです。

1. 会社創業～会社設立
2. 鶏卵生産者は小作か？
3. コロナ禍・ウクライナ危機・円安
4. 100周年。次の100年はあるか？
5. 『あらん』誕生

